

第52回日本コミュニケーション障害学会学術講演会

失語症、言語発達障害、吃音、構音障害、聴覚障害などのコミュニケーション障害に対し、医学、言語学、心理学、教育学など多角的な視点から研究・支援を行う学会です

多様性って？『みんな違ってみんないい』を考えよう！

市民公開講座

2026年6月7日(日) 11:20~12:20 (※受付は11:00から)

願いと誇りと喜びと —特別支援教育を拓いた人びと—

『沈黙の勇者たち』で第27回司馬遼太郎賞を受賞した
岡典子氏が語る特別支援教育の原点と「言葉を育むこと」の接点



講師 **岡典子**

筑波大学人間系 教授

桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。筑波大学大学院博士課程心身障害学研究科単位修得退学。博士(心身障害学)。福岡教育大学講師、東京学芸大学准教授などを経て、筑波大学人間系教授。専門は障害者教育史。

参加費
無料

事前予約不要

会場

つくば
国際会議場
LEO ESAKI
メインホール

主催 第52回日本コミュニケーション障害学会学術講演会準備委員会

会場 つくば国際会議場
〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-20-3

お問い合わせ 第52回日本コミュニケーション障害学会学術講演会事務局 筑波大学人間系
E-mail: jacd52tsukuba@gmail.com (大会事務局宛)

HP <https://jacd52.secand.net/index.html>



※駐車場の用意はございません。お車で越しの際は近隣の駐車場をご利用ください ※参加に際して配慮が必要な方は、5月7日までに事務局までご連絡ください

第52回コミュニケーション障害学会

2026 #

学術講演会のご案内

6月6日(土)

<特別講演>

「場面緘黙の評価と支援」

園山 繁樹 (西南女学院大学保健福祉学部)

in つくば
国際会議場

ことばの壁を超えて ...
つくばからの発信

<海外講演>

「Virtual Reality applications in the field of Communication Disorders:
Implications from stuttering research」

Shelley B. Brundage (George Washington University)

<シンポジウム>

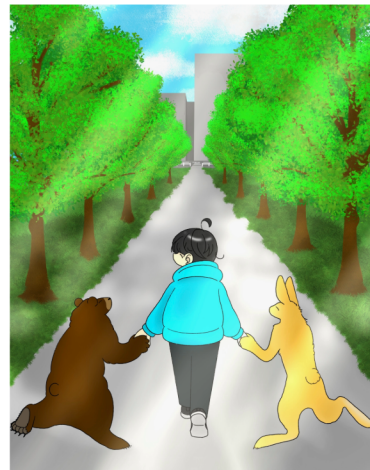
1. 「自閉スペクトラム症の支援に向けて：最新の知見から」
2. 「聴覚障害児の教育的支援のエビデンス」

6月7日(日)

<学会共同企画>

「音声言語病理学の発展を展望する

—日本音声言語医学会と日本コミュニケーション障害学会との対話—



<教育講演>

「リハ栄養口腔連携とこころのリハ栄養」

若林 秀隆 (東京女子医科大学病院リハビリテーション科)

<シンポジウム>

3. 「アジアにおける言語聴覚士養成の現状と課題」

※言語聴覚士以外の方でも、どなたでも参加できます。
参加費などの詳細はホームページをご覧ください。

大会長 宮本昌子 筑波大学人間系
事務局長 飯村大智 筑波大学人間系

お問い合わせ e-mail: jacd52tsukuba@gmail.com

